



授業科目名[副題]	担当教員[所属]
<p style="text-align: center;">夏季フィールド実習</p> <p style="text-align: center;">Practice for Field Research</p>	川窪 伸光 [応用生物科学部] 環境生態科学コース教員 [応用生物科学部]

開講年度	2008	
科目開講学部	応用生物科学部	
対象学科	生産環境科学課程	
授業科目区分	科目区分	専門科目
	科目分類	生産環境科学課程
	判定科目区分	
対象学年	3年	
対象者の制限		
開講学期	前学期	
開講時間割	集中講義等	
開講時間割特記事項		
授業の形態		
単位数	2	
必須・選択の別		
教室	[応生]後日指定	

[注] 開講時間割・教室は変更となる可能性があります。変更となった場合は掲示等でお知らせします。

履修コード	科目番号	カリキュラム
ABA01330	133	応用生物科学部(2004)

1. 授業のねらい(授業のねらい・目標・学習達成目標)

3年生になり、皆さんは、ある程度の基礎知識を身につけています。そこで、皆さんの今後の研究活動や、卒業後の社会活動や貢献において重要である、より高度で実践的な科学的方法を習得することを、本野外実習「夏季フィールド実習」の目的としたいと思います。

具体的実習内容は、研究分野間で著しく異なると考えられますが、環境生態科学コース学生として、自然・環境をダイレクトに捉え、徹底して科学的に検討する学習する必要性は、分野を問わず同等です。そのような科学的思考に集中できるように、皆さん同士が、教員と相互作用しながら、長時間連続的に行動を共にする野外実習は、独特な学習体験の場であると思います。各人が、各専門分野で、いわゆる「専門家」として成長するとき、最低限は経験しておかなければならない科学的観察・測定・解析方法が、この実習で体験できれば幸いです。

コンピューターの前に座ってインターネットを検索したり自然系TV番組を見たりするだけで、自然界を理解し、環境問題に立ち向かう思考が身につくはずはありません。この実習群が提供する「泥だらけの体験」が、みなさんの科学的思考をさらに覚醒させることを願っています。

2. 授業計画(授業形態・修得しておくべき科目など)

ガイダンスを7 - 8月期に行うのでアナウンスに注意すること。

#

3. 教科書・テキスト・参考文献等

#

4. 試験・成績評価(試験の方法・成績評価の基準及び方法)

#

5. その他特記事項

【受講者へのメッセージ】#

【オフィスアワー】#

【連絡先】[居室] #

[電話] #

[メール] #

【受講に必要な経費】#

シラバスURL	https://syllabus.gifu-u.ac.jp/syllopen/SyllabusViewAction.do? courseID=20081ABA01330
---------	--

CourseID	20081ABA01330
----------	---------------

[閉じる](#)